

(福山市障がい者総合支援協議会通信)

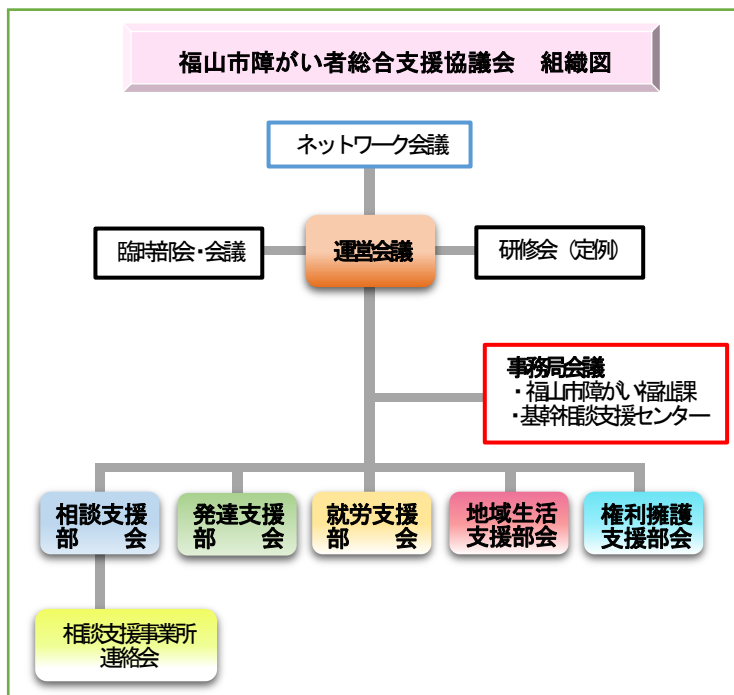
2018年(平成30年)3月発行



障がい者総合支援協議会はこんな活動をしています。

「障がいのある人が普通に暮らせる地域づくり」を目指し、その目的を具体化するために、保健・医療・福祉・教育・就労など多分野多職種の関係者が集まり、地域の実態や課題等の情報を共有し、支援体制の整備と社会資源の改善・開発を行う中核的な役割を果たす場として「福山市障がい者総合支援協議会」は位置づけられています。

障がい者総合支援協議会では、運営会議を中心として、各専門部会において、地域の課題についての議論を深め、その解決に向けて長期目標・短期目標を定めてPDCAサイクルを回しながら取り組みを進めています。



ネットワーク会議並びに研修会を開催しました!

2017年度福山市障がい者総合支援協議会 第1回研修会
地域フォーラム in 福山 ～私たちの願いを実現するために～



参加者：138名

- と き：2017年7月11日(火)
- と ころ：エフピコ RiM ふくやま
- 講師：広島国際学院大学
准教授 藤本 風明さん
- シンポジスト
障がい当事者5名及び福山市総合支援協議会運営会議 林議長の計6名が登壇されました。

「すべての障害者と市民を結ぶひろしま県民会議」との共催で、～私たちの願いを実現するために～と題し、ノーマライゼーションの実現をテーマに開催しました。

当事者をシンポジストにお招きし、日頃の思いをお話しいただいたことで、障がいのある人がいきいきと暮らしていくことができる地域づくりを展望することができました。

引き続き行われたネットワーク会議では、障がい者総合支援協議会の各部会等の報告が行われました。

福山市障がい者総合支援協議会 活動報告(2017年度はこんなことをしてきました)

2017年4月からの活動内容について報告します。

日頃の部会等の活動など、できるだけ新しい情報をみなさんにお伝えします。

運営会議

障がい者総合支援協議会のエンジンとして、協議会の総合調整・企画・立案・専門部会への指導助言などを行います。

- 長期目標
 - ・各部会間の連携強化を図り、課題を全体で協議し、具体的解決に向けて取り組む
 - ・課題解決のための仕組みづくりや作業部会、専門部会・ワーキンググループ等の設置について調整を行う
 - ・第4期福山市障がい者福祉計画における進捗状況を把握する
 - ・第5期福山市障がい者福祉計画作成に向けた意見集約を行う
 - ・障がい者差別解消の推進に向け、障害者差別解消法について周知啓発を行う
 - ・障がい者虐待防止に取り組む
 - ・地域移行・地域定着支援体制の確立に向けて取り組む
- 短期目標
 - ・継続的な研修会の開催
 - ・地域の情報や課題を集約し、整理・分析する
 - ・先進的市町の状況や成果が得られている事例について学ぶ
 - ・公共施設でのバリアフリー化や精神疾患のある方のグループホームの整備に向けて提案を行う

【今年度の取り組み状況】

☆年5回開催（4月・6月・9月・12月・2月）

☆第4期障がい福祉計画進捗状況の確認

☆第5期障がい福祉計画への意見集約

☆研修会の開催

主 催：福山市障がい者総合支援協議会・すべての障害者と市民を結ぶ県民会議

日 時：2017年7月11日(火) 会 場：エフピコRiMふくやま

テーマ：地域フォーラム in 福山 ～私たちの願いを実現するために～

講 師：広島国際学院大学准教授 藤本 風明さん（1ページ参照）

☆臨時運営会議の開催

「一般社団法人しあわせの庭」の経営破綻について協議し、市障がい福祉課へ意見具申しました。

☆就労継続支援A型事業所の経営破綻に係る対応等について、「相談支援部会」「就労支援部会」と連携し、市障がい福祉課へ意見具申を行いました。

相談支援部会

相談支援専門員のスキルアップを目的として、研修会等を開催しています。

□長期目標

- ・相談支援業務に資する各種マニュアルを作成
- ・障がい者理解に向けた研修会の開催
- ・地域課題の抽出と課題の検討

□短期目標

- ・地域生活支援拠点等の整備に向けた意見集約を行う
- ・災害対策マニュアル作成グループを立ち上げる
- ・介護保険制度との連携を図る

【今年度の取り組み状況】

☆年4回開催（4月・8月・1月・2月）

☆第5期障がい福祉計画への意見集約

☆相談支援部会主催研修会の開催

日時：2018年1月10日(水)

会場：エフピコRiMふくやま

テーマ：『お金』をめぐる課題と支援を考える・・・
お金の管理とトラブル防止を支えるために

講師：狛江市地域自立支援協議会会長 江國 泰介さん

参加者：89名



☆ワーキンググループの立ち上げ・開催（6月・7月・8月・9月・11月・1月）

① 「各種マニュアル作成」ワーキング

◇相談支援専門員のスキルアップを目的とした「計画相談支援マニュアル」を作成しました。

② 「研修内容提案・困難事例検討」ワーキング

◇研修会を企画立案し、開催しました。また、「相談支援事業所連絡会」において困難事例の検討を行い、課題解決に向けて取り組んでいます。

③ 「地域課題解決・地域生活支援拠点等整備の検討」ワーキング

◇介護保険制度との連携の円滑化を目的としたマニュアルを作成しました。

マニュアル：『地域包括支援センター・ケアマネジャーと
相談支援専門員との顔の見える関係づくり』

④ 「災害対策マニュアル作成」ワーキング

◇災害時について・過去の災害時の課題や相談できる場所などの情報を収集して、マニュアル作成を目指しています。

☆就労継続支援A型事業所の経営破綻に係る対応等について、「就労支援部会」「運営会議」と連携し、市障がい福祉課へ意見具申を行いました。



□ 相談支援事業所連絡会

市内の相談支援事業者が参画し、相談支援専門員のスキルアップを目的として、事例検討や情報交換等を行っています。

【今年度の取り組み状況】

☆年6回開催（6月・7月・9月・10月・12月・1月）

☆第5期障がい福祉計画への意見集約

☆ミニ講座の開催（6月）

『手をつなぎあうために～地域包括ケアシステムについて～』

講師：地域包括支援センター南蔵王 高森 裕美さん

☆事例検討・意見交換会

7月 『一人の利用者さんがB型事業所2か所をかけもちで体験。2事業所の関係が悪化してしまったときの調整について。』

10月 事例発表と意見交換会の開催

『認知症のある父と、知的障がいのある子の世帯への支援』

～地域包括支援センター・ケアマネジャー・相談支援専門員の連携～

1月 『不登校児のケースについて』

☆行政からの情報提供

☆事業所紹介

☆就労継続支援A型事業所の経営破綻に係る意見具申について、市障がい福祉課の回答をうけて、意見交換を行いました。



● 発達支援部会

ライフステージにおける繋ぎのための連携や支援体制システムづくりを目指しています。



□長期目標

- ・ライフステージにおけるつなぎのための連携や支援体制，システムづくりを目指す（医療的ケアが必要な子どもを含む）
- ・地域課題を出し合い，共通認識を持ち，課題解決に向けて関係機関が連携し取り組む

□短期目標

- ・事例検討や実態調査等を通じて，課題の抽出を行い，切れ目のない支援を目指す

【今年度の取り組み状況】

☆年4回開催（4月・7月・10月・1月）

☆第4期障がい福祉計画実績・第5期障がい福祉計画について意見集約

☆事例報告・検討

4月 『学齢期の不登校・ひきこもりについて』

報告者：福山市教育委員会学校教育部指導課（角田委員）

障がい者基幹相談支援センタークローバー（永井委員）

7月 グループワーク

『学齢期の不登校・ひきこもり』の課題について

10月 『「あのね」の取り組みについて』

報告者：福山市児童部ネウボラ推進課 山本調整員

☆発達支援部会主催研修会の開催

日時：2017年6月10日(水)

会場：エフピコRiMふくやま

『「いのち 輝け」～発達障がい・不登校・ひきこもる人・家族に寄り添って～』

講師：NPO 法人子ども・若もの支援ネットワーク

おおさか 理事長 青木 道忠さん

参加者：124名



☆医療的ケア作業部会（5月・7月・10月・11月）

医療的ケアの必要なこどもたちの現状と課題を探るため作業部会を立ち上げました。また、医療的ケア児の相談支援に資すべく、社会資源を一覧表にまとめました。

就労支援部会

障がいのある人の「その人らしい働き方」の実現のため、就労系福祉サービスや一般就労との連携を深め、切れ目のない就労支援を目指しています。

□長期目標

・それぞれの役割を明確にし、連携を深め、切れ目のない就労支援を目指す

□短期目標

・就労移行支援事業所・就労継続支援A型・B型事業所の連携体制を確立する

【今年度の取り組み状況】

☆年4回開催（5月・8月・11月・2月）

☆意見交換会

5月 『就労移行支援事業所の取り組みについて』

報告者：①多機能型事業所 ココサポ福山

②社会福祉法人「ゼノ」少年牧場 あかつき

③社会福祉法人まどか すみれ工房

8月 『障がい者雇用への取り組みと課題について』

報告者：①株式会社 プブレひまわり 人事総務部 浅野 良亮さん

②コスモ食品株式会社 専務取締役 高橋 慎太郎さん

③株式会社 誠和 総務部長 中村 滋男さん

「就労移行支援事業所の取り組み」の報告では、作業を通して本人の適性を見極めて、できることを増やしていているなどの工夫が報告される一方で、就労に結び付かないケースもあり課題が共有されました。委員からはどのような関わりで支援を進めているのか、就労後もフォローはしているのか、質問が途切れなく出されました。

「障がい者を雇用している一般企業の取り組み」の報告では、企業の方をお招きして、障がい者を雇用して【良かったこと】【困ったこと】【配慮していること】を中心に意見交換しました。経営者の思いを従業員と共有することの大切さや、障がいの特性を学ぶ社員研修を定期的におこなっていることなどが報告されました。どの企業も試行錯誤されている様子でしたが、「社会にはまだ障がい者の雇用を受け入れる余地がある」という意見も出され、就労支援部会が一般企業とのかけはしとなるようつとめていくことを委員全体で確認しました。

☆就労支援部会主催シンポジウムの開催

日時：2018年2月3日(土)

会場：エフピコRiM ふくやま

『わたしのワークライフ～支えあい（企業編）～』

司会：すみれ工房 高橋 恒二郎さん

アドバイザー：ジョイ・ジョイ・ワークかりん

池田 正則さん

シンポジスト：株式会社 誠和

赤木 智さん 小川 幹良さん

株式会社ププレひまわり 大谷 徹さん 浅野 良亮さん

福山市農業協同組合 森川 るみ子さん



☆就労継続支援A型事業所「しあわせの庭」経営破たんについて、相談支援部会森迫部会長を招聘し協議しました。

地域生活支援部会

「誰もが、自分らしく安心して暮らし、社会へ貢献できる地域づくり」を進めるために、支援体制の構築に向けて具体的な取り組みを進めています。

□長期目標

- ・「住まいの場の作業部会」を中心に一般住宅への居住支援ネットワークづくりを行う
- ・「社会資源ガイド作業部会」を中心に社会資源ガイドの活用・更新を行う
- ・研修会の継続と併せて、市民への周知・啓発のあり方について検討する
- ・他専門部会との交流や連携、民生委員との情報交換の場を設ける

□短期目標

- ・住居確保に向けて、障がい者の正しい理解について周知啓発を行う
- ・社会資源ガイドの完成・周知啓発を行う
- ・普及啓発作業部会を立ち上げる
- ・各委員の所属機関等の活動報告を行う
- ・地域生活支援拠点等の整備について意見集約を行う
- ・住居確保や入居に向け、居住支援ツールの開発及び関係機関との共有を図る
- ・社会資源ガイドの作成及び周知啓発を行う
- ・普及啓発パンフレットの作成
- ・研修会の開催

【今年度の取り組み状況】

☆年4回開催（5月・8月・11月・2月）

☆第4期障がい福祉計画実績・第5期障がい福祉計画について意見集約

☆施設・事業所紹介

5月 福山こころの病院

蔵王病院

8月 障害福祉サービス事業所 青葉

指定障害福祉サービス事業所 ほっとはうすのばら

11月 地域生活支援センターひだまり

地域活動支援センターとまり木

☆作業部会の進捗状況の確認及び助言

☆地域生活支援部会主催研修会の開催

●日時：2017年10月12日(木)

会場：エフピコRiM ふくやま

『～地域で共に暮らしていくために～

鳥取県あんしん賃貸支援事業について』

講師：鳥取県くらしの安心局住まいまちづくり課

建築技師 加納 賢一さん

鳥取県居住支援協議会

相談員 野沢 祥一さん 参加者：44名



●日時：2017年11月6日(月)

会場：エフピコRiM ふくやま

『みはらの“まち”づくり，“暮らし”づくり

ー市民共働の取り組みー』

講師：三原市福祉のまちづくり推進協議会

副会長 鏡本 智昭さん 参加者：78名



☆作業部会の立ち上げ・運営

①「住まいの場」作業部会(4月・6月・7月・8月・9月・10月・12月・1月)

障がいのある人の一般住宅への居住支援ツールとして、マニュアル：「住居確保・移行に向けて」や「住居移行するためのチ

ェックリスト」「大家さん向けパンフレット」を作成しました。

自身で住居確保が難しいと思われる人と貸主(不動産業者や家主)

とがお互いの不安要素を軽減し、

入居を促進することができるよう、活用してまいります。

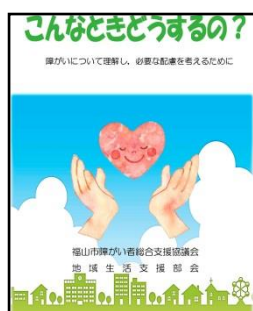


②「社会資源ガイド」作業部会(10月・2月)

「さまざまな相談窓口」という社会資源ガイドを昨年度完成し、今年度は、「自助グループの一覧」を追加し改訂しています。年度内の完成を目指しています。



③「普及啓発」作業部会(4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月(2回)・12月・1月・2月)



障がいと障がい者に対する市民の正しい理解を促進するめるため、「こんなときどうするの?」というパンフレットを作成しました。「障がい」の特性や、特性に応じた必要な配慮を正しく理解することで「誰もが、自分らしく安心して暮らし、社会へ貢献できる地域づくり」を目指します。

●成果物の一部はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.f-shakyo.net/mamorose/sougoushien.html>

権利擁護支援部会

障がい者の権利擁護を推進するため、障がい者虐待防止・障がい者差別の解消等について、取り組みを進めています。

□長期目標

- ・障がい者の権利擁護を推進するために、虐待防止・差別解消法について、市民への周知を図る

□短期目標

- ・障がい者差別に関する紛糾事案について協議・検討し、解決に向けて協力する

【今年度の取り組み状況】

☆年4回開催（5月・7月・10月・1月）

☆差別解消事例について障がい福祉課より情報提供・意見交換

☆第4期障がい福祉計画実績・第5期障がい福祉計画について意見集約

☆福山市こころをつなぐ手話言語条例について

福山市障がい福祉課から説明を受け、部会員で共有しました。

☆福山市が作成する「障害者差別解消法リーフレット（素案）」について、意見を伝え作成に協力

☆臨時部会の開催（9月）

地域生活支援部会啓発パンフレット「こんなときどうするの？」の内容について意見集約を行い、作成に協力しました。

2016年度（平成28年度）福山市で把握している「障がい者差別解消法に係る相談事例」を委員で共有し対応について検討しました。制度上対応が難しい事案もありましたが、「当事者の側に寄り添った対応が必要である」との意見があり、「障がい者差別解消法」について市民へ周知・啓発する大切さを確認しました。また、地域生活支援部会が作成するパンフレットへ権利擁護支援部会の立場として、積極的に協力をしました。

☆権利擁護支援部会主催研修会の開催

- 『障がい者虐待防止講演会』（3月予定）



今後の予定

●「住居確保・移行に向けて」支援ツール説明会

- 1 主催 地域生活支援部会
- 2 日時 2018年(平成30年)3月15日(木) 10:30~12:00
- 3 会場 福山すこやかセンター東館1階 研修室
- 4 内容 (1)「住居確保・移行に向けて」作成の経緯、主旨について
(2)住居確保・移行までの支援手順について
(3)住居移行するためのチェックリストの活用について
(4)大家さん向けパンフレットの活用について
- 5 対象 支援ツール使用依頼先の関係機関の方

●2017年度(平成29年度)福山市障がい者総合支援協議会

- 第2回研修会・第2回ネットワーク会議
(1)研修会 『障がい者虐待防止講演会』

- 1 日時 2018年(平成30年)3月28日(水) 13:00~14:30
- 2 会場 エフピコRiMふくやま 9階 スカイホールスタジオA
- 3 演題 「人としての尊厳・障がい者虐待の現状と特徴を考え合いましょう」
- 4 講師 社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
理事長 大矢 暹(おおや すずむ)さん
- 5 対象者 どなたでも参加できます。
- 6 参加費 無料
- 7 申し込み先 福山市障がい者基幹相談支援センター(担当:上手)
TEL:(084)973-0968 FAX:(084)926-7111
MAIL:f-shakyo-kikansoudan@apricot.ocn.ne.jp

(2) 福山市障がい者総合支援協議会第2回ネットワーク会議

- 1 日時 2018年(平成30年)3月28日(水) 14:45~15:30
- 2 会場 エフピコRiMふくやま 9階 スカイホールスタジオA
- 3 内容 (1)今期(2016年度~2017年度)の活動報告
(2)質疑応答, 意見交換
- 4 対象者 障がい者総合支援協議会委員及び関係機関・団体の方

総合支援協議会委員から一言

福山市総合支援協議会相談支援部会 部会長 森迫 一成 さん

相談支援部会は相談支援専門員を中心に保健・福祉・高齢者介護に関わるメンバーで構成され、障がい児者やその保護者が地域で生活するうえで必要な新しいサービス・ネットワークの検討や開発を行い、今ある福祉サービスの改善・拡充を市に求め、市策定の障がい福祉計画が更に良いものとなるよう提案を行っております。また、市内全ての相談支援事業所で構成する「相談支援事業所連絡会」での事例検討や研修会、ワーキングチームでのマニュアル作成などに対して助言し、相談支援の進むべき方向性や相談支援専門員のレベルアップを求めています。“一人の不安をひとりだけの不安にしない”ために個々の生活・地域課題をみんなで考え、解決を図るための活動を今後も続けていきます。

ホームページもありますので。ぜひ一度ご覧下さい

<http://www.f-shakyo.net/mamorose/sougoushien.html>



福山市障がい者総合支援協議会役員

任期：2016年度～2017年度

部会名等	役職名	名前	所属
総合支援協議会	会長	小野 裕之	市保健福祉局福祉部長
総合支援協議会	事務局長	藤村 知史	市社会福祉協議会
運営会議	議長	林 誠	あんずの家
	副議長	西山 千秋	福山手をつなぐ育成会
	副議長	岡田 恭弘	障がい者基幹相談支援センター(クローバー)
相談支援部会	部会長	森迫 一成	さぽーと
	副部会長	木村 武	相談支援事業 すまいる
	副部会長	和田 斉也	障害者自立支援センターしんいち
発達支援部会	部会長	塩出 順子	「ゼノ」こぼと園
	副部会長	中居 すみ江	広島県立沼隈特別支援学校
	副部会長	長谷川 貴一	草笛学園
就労支援部会	部会長	池田 正則	ジョイ・ジョイ・ワークかりん
	副部会長	檜木 智彦	東部地域障害者就業・生活支援センター
	副部会長	高橋 恒二郎	すみれ工房
地域生活支援部会	部会長	馬野 育次	馬野神経科クリニック
	副部会長	カ石 実果	下永病院
	副部会長	久保田 史章	指定障害者支援施設「ゼノ」なごみの家
権利擁護支援部会	部会長	根本 敏太郎	福山市視覚障害者福祉協会
	副部会長	門田 潤美	特定非営利活動法人福山ろうあ協会
	副部会長	皿海 貴裕	がまのほ
	副部会長	森分 隆	しんぷいおい

発行：福山市障がい者総合支援協議会
(事務局)

福山市障がい者基幹相談支援センター

住所：福山市三吉町南二丁目11-22

福山すこやかセンター内

TEL:(084)973-0968 FAX:(084)926-7111

MAIL：f-shakyo-kikansoudan@apricot.ocn.ne.jp